

## 令和 4 年度の教育の計画を作っています

3 学期が始まって 2 週間がたちました。年長組の保育室の掲示板には書き初めがはってあります。筆で自分の名前を堂々と書きました。穂先の柔らかい筆をつかって字を書くのは、小さい子には大変なことだと思いますが、子どもは意外に思い切りがよく、伸び伸びした字を書いています。

年少組の子どもたちは、かるた遊びをやっていました。『だじゃれかるた』だそうで、「㊦ めがねを とったら めがねえ」とか「㊧ コンドルが めりこんどる」など、面白いだじゃれが次々に読み上げられます。読み札をすらすら読む子もいてびっくりしてしまいます。

言葉を自在に読んだり書いたり、話したりできるようになると、自分でいろいろなことを考えたり想像したり、伝えたりできるようになります。そうすると遊びがどんどん広がり、楽しくなっていきます。それは小学校での学習も同じです。国語はもちろんですが、算数や理科の学習も言葉で行われます、テストももちろん言葉で書いてあります。ですから、言葉を豊かに身に付けている子は、勉強もどんどんわかり、楽しくなっていきます。

さて、幼稚園では、今、令和 4 年度の教育計画を作っています。次年度は子どもたちが、小学校へ入学したときにスムーズに小学校の学習に取り組めるよう、新たに「言語環境・言語活動の充実」ということを重点に加えました。

保護者のみなさま、地域の方々にも次年度の清水幼稚園の教育の方向性をご理解いただき、同じ思いで子どもたちにかかわっていただければと考えています。



### 【令和 4 年度の清水幼稚園の教育の重点】

#### ◎ 幼児が進んで『よい生活習慣・よい学びの習慣』を身につける

- 遊びや生活の中で、よい生活習慣・よい学びの習慣を進んで身につけるよう丁寧に援助する。
  - ・ 『あいさつ へんじ さわやかな応答』の習慣・食の習慣「小学校の給食を食べよう」(年長組)
  - ・ 絵本を見たり読んだりする習慣・文字や数字に興味・関心をもち、親しむ

#### ◎ 豊かな体験活動を展開し、幼児の『主体性』を育てる

- 小学校との日常的なかかわりを深める。(例)「小学校探検に行こう」
- 飯坂線の電車を活用し、世界を広げる。(例)「県立図書館で本を借りよう」「新幹線を見に行こう」
- 地域の自然環境を生かした保育を進める。(例)「地域の農家でぶどう狩りをしよう」
- 地域の文化に触れる機会をもつ。(例)「佐藤家(国登録有形文化財)に散歩に行こう」
- 外国の言葉や文化に触れる機会をもつ。(※ALTとの活動) ○ 体験について話したり、表現したりする。

#### ◎ 『保育の質の向上』を図る

- 保育を振り返り、保育の改善を進める。(リフレクション)
  - ・ 保育改善の視点 『幼児の可能性を信じるあたたかな眼差しと丁寧な応答』
- 保護者や地域の方々のボランティアを積極的に活用する。
- 「清水こぐまの会(子育てサークル)」の活動を支援し、充実する。
- 小学校へのスムーズな接続を図るための保育の改善と充実を進める。
  - ・ 『言語環境・言語活動の充実』
  - ・ 小学校の授業参観研修を充実する。